

令和元年度「八代市学校・子ども教育応援基金」の活用状況

お寄せいただきました寄附金につきまして、令和元年度においては、子どもたちの学びを支援するための事業として、次の8事業へ、総額1,423,503円を活用させていただきました。

難聴生徒授業支援事業

難聴生徒を支援するため、タブレットを導入しました。音声認識マイクを使用して授業内容の音声情報を文字情報に変換し、タブレット画面で生徒へ伝達することで、授業内容の理解度向上を支援しました。

【寄附金充当額 265,336円】



GTECを活用した授業改善

モデル校5校の中学2年生を対象にGTECを実施しました。実施の前後に実施校の教員を対象として3回の連絡会を開催し、説明・協議を行い、また、個々の生徒に対しては4技能ごとの詳しい添削結果を返却し、学習意欲の向上につなげることができました。なお、教員向けの詳細な結果分析・報告により、生徒の英語力の正確な把握ができました。また、本市全ての中学校を対象として、教師の授業改善及び指導力向上につなげるための研修会を行い、GTECの結果分析から見た本市の課題改善のための方策について協議を行いました。

※GTECとは英語の4技能（話す・聞く・書く・読む）を測定する検定のことです。

【寄附金充当額 439,518円】

教材作成活動推進事業

確かな学力の向上のため、一中校区の3小学校で「一中校区3校連携共通問題集【算数編】」を編集・製本し、特設の学力向上タイム等で活用しました。学校全体の取組に資するとともに、各指導者の課題解決と授業改善につながり、県学力調査の結果、松高小算数における正答率の平均で、高い成果が表れており、本事業の高い効果性を検証することができました。

【寄附金充当額 184,464円】

自主公開授業研究会

八代支援学校において、授業改善に向けて「自己をみつめ、人と関わり、学びを広げようとする子供の育成」をテーマにして研究を行い、自主公開授業研究会を実施しました。助言者の先生方から、授業改善のポイントを指導していただくことができ、授業者はもちろん参加者全てが学びを深めることができました。公開授業後のアンケートからも、多くの参加者から「たくさんの学びを得ることができた」と回答をいただきました。

【寄附金充当額 94,671円】

QUテスト拡充事業

泉中学校が文部科学省指定人権教育研究推進校となり、泉小学校と共同で研究を行うため、研究仮説の検証資料の1つとして、QUテストを活用し、小学5年生から中学3年生までを対象に「hyper-QU」を2回実施しました。研究においては、子どもたちに「ふるさとに誇りをもち、未来につながる力」を身に付けさせるための三つの視点を示し、三つの部会で視点に沿った取組を行いました。また、児童生徒の結果を丁寧に読み取るとともに教師の日常観察も加味することで、学習面及び生活面におけるより丁寧な指導や支援につなげることができました。

※QUテストとは楽しい学校生活を送るためのアンケートのことで、このアンケートでクラスの一人一人の満足度を測ることができるとされています。

【寄附金充当額 43,200円】



八代未来塾事業

二見中学校において、1～3年生を対象に地域未来塾を開設し、数学と英語の2教科について、基礎学力の定着及び学力向上を図りました。

【寄附金充当額 217,090円】

ICT研究発表校事業

本市のICT研究指定校を受けた第三中学校において、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善をテーマにして予習型の家庭学習の研究及びICTを活用した学習指導の工夫改善について研究を行い、研究発表会を実施しました。参加者のアンケートにおいて、本研究での取組が概ね評価されました。また参加者からのコメントを分担して検証し、班別協議を行い全職員で共有することができました。

【寄附金充当額 91,800円】



不登校児童生徒の適応指導事業

通級児童・生徒の下学年における履修内容の学習のため、参考書、問題集を購入し、ひとりひとりに合わせたきめ細かい学習指導を行い、学校復帰のための基礎的な学力の定着を図りました。また、くま川教室の一大取組の一つの「オリジナルカレンダー」を作成し、この取組を通して、子どもたちの自己有用感の育成や人間関係づくりを図りました。

【寄附金充当額 87,424円】